

## ◆ 平成 27 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：白子・大坂湧水林保全の会

代表者：代表 友國 洋

URL : <https://opencity.jp/wako/>

### 1. 活動が必要とされた状況

和光市における近年の開発は著しく、固有の斜面林や湧水が失われてきている。その生態系・文化的価値を訴え、これまで白子・大坂の窪地と、市内湧水地における植生調査を継続的に実施し発表してきた。H27 年度の活動は次の点に配慮した。

- ① 白子・大坂の窪地の植生調査において、前回コドラート周辺の草刈を行ったため、今回は草刈をしていない部分の植生を比較調査しその影響を見る。
- ② 市場峡公園をはじめ市内湧水地に生育するカワモズク属の観察を継続する。
- ③ 和光市内の湧水地に生育している蘚苔類について、新たに専門家の指導を得て調査。
- ④ 会の活動を広く世間に知らせていく。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ① 白子・大坂の窪地植生調査： 毎月第 2 土曜日午前中、5、6 人で観察し記録した。
- ② カワモズク属調査： 和光市内の湧水地点を毎月 1 回観察した。「カワモズクニュース」を発行、HPに掲載し図書館にも収蔵した。
- ③ 蘚苔類調査： 埼玉県みどり自然課から蘚苔類の専門家を紹介いただき、6 月 6 日及び 27 日の 2 日間、調査を行った。
- ④ 広報：これらの活動を報告書にまとめ、H28 年 2 月 27 日和光市中央公民館において報告会を開催し報告した。木口博史氏に「和光市のコケ」について講演していただいた。その他、和光市緑化まつり（5 月）和光市中央公民館まつり（11 月）等でパネル展示に参加し活動を紹介した。



白子・大坂の窪地



市場峡公園

### 3. 活動の成果

- ・ 報告書「都市の中の自然をさがす～和光市緑地の植生調査報告Ⅲ～」(A 4 版 30 ページ 300 冊)を刊行した。報告書は和光市、和光市教育委員会(図書館、公民館、小中学校)、市内高等学校、市内環境団体、県内環境団体、報告会参加者に配布した。
- ・ 「第 17 回彩の国埼玉環境大賞に応募し奨励賞を受賞した。

### 4. 今後に残された課題

- ・ 緑地、湧水地の保全には公有地化が望ましい。これからも、緑地、湧水地の重要性を訴え市民意識の高揚を図る継続的な活動が必要である。同時に、地権者との話し合い及び資金的な手立てについてトラスト等の検討も必要である。